船橋市議会議員

ひいろ健人（たけと）

市議会レポート
第28号

発行：ひいろ健人事務所　船橋市海神6-11-9　TEL 047-420-1800　FAX 047-420-1801
E-mail　info@taketo2784.net　http://www.taketo2784.net（活動ブログ更新中!）

■西海神小学校で放課後子供教室スタート

平成26年度から、西海神小学校をはじめとする市内5小学校で「放課後子供教室」推進事業が開始されます。この事業は、放課後等に子供たちの安心・安全な活動場所を確保するため、小学校の余裕スペースや教室等を活用し行われるものです。

放課後の子供の居場所としては、これまでも「放課後ルーム」がその役割を果たしてきましたが、今回の事業はそれに加えて、学校・地域・ボランティア等の協力を得てすべての小学生に安心・安全な活動場所を確保・提供しようとするものです。

放課後子供教室と放課後ルームの位置づけ

事業名	放課後子供教室	放課後ルーム
国の所管	文部科学省	厚生労働省
対象児童	すべての小学生	放課後家庭で子供だけになってしまう小1～小3（余裕あればそれ以上の学年も受け入れ）
実施場所	学校内の余裕スペース	放課後ルームの専用室
時　　間	平日の放課後～午後5時 夏休み等の午前9時～午後5時 （土曜日除く）	平日の放課後～午後7時 土曜日・夏休み等の午前8時～午後7時
利用料等	保険料　年額500円	児童育成料　月額8,000円 おやつ代　　月額2,000円

近年、子供の安全・安心な遊び場が限られてきている中で、こうした取り組みの必要性は高まっているほか、共働き家庭の増加に伴って増え続ける放課後ルーム需要をある程度抑制する効果も期待されています。まず平成26年度では5校でモデル事業として実施し、平成28年度までに市内全小学校で実施することを目指しています。

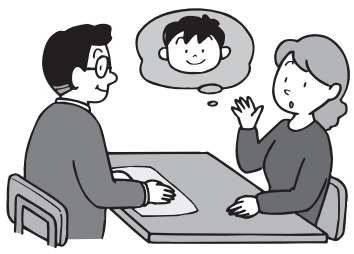
同時に、放課後も子供が学校内に留まることから、施設管理など学校側の負担が発生することも考えられるほか、魅力的なプログラムの実施には指導員だけでなく幅広い地域の方々やボランティアの協力も必要となることと思われます。

今後モデル事業の実施を見守るとともに、その運営を正しく評価して来年度以降の事業実施に反映させていきたいと思います。

■市内全小中学校にスクールカウンセラー配置など教育環境充実に力点

松戸徹新市長の選挙公約にも掲げられていた、市内全小中学校へのスクールカウンセラー配置について、今議会で予算及び関係条例の改正が可決され実現の運びとなりました。これは、近年いじめや不登校など児童に係る相談が増加していることに対応するもので、臨床心理士などからなるスクールカウンセラーを全ての小中学校に配置することで、児童や保護者が安心して悩みや心配事を相談できる体制を作り、落ち着いた学校生活を送れるよう支援するものです。

このほかにも、学校図書館の図書について、文部科学省が設定する標準冊数を達成するため予算措置が行われるなど、教育環境の充実に向けて力点の置かれた新年度予算となりました。



■平成26年度予算が成立
～一般会計は過去最大の1907億円～

去る3月27日（木）、平成26年第1回定例会は平成26年度一般会計予算など市長提案の40議案ほかを可決し閉会しました。（議案の詳細等については4月25日頃発行の「市議会だより」をご覧ください。）

平成26年度一般会計は1907億円あまりとなり、過去最大の予算規模となったほか、6年連続の増額予算となりました。予算編成にあたっては、後期基本計画に基づく事業の推進が図られたほか、松戸徹新市長の選挙公約に基づき、重点を置いた事業が予算計上されています。

気になる市債残高（自治体の借金）についても一般会計で866億円余りと増加をしていますが、この比率は全国的に見ても低いものであり、財政的には余裕のある状態です。

しかし、今後の見通しは予断を許すものではないことから、引き続き不断の行財政改革を行っていく必要があると考えています。

■3月議会議案質疑
～小水力発電実証実験事業、青少年問題協議会条例～

去る3月7日（金）、27回目となる質疑に立ちました。今回は市内下水処理場で行われる小水力発電実証実験事業ならびに青少年問題協議会条例の一部を改正する条例を取り上げ、市執行部と議論を行いました。以下、その模様をお伝えします。

●小水力発電実証実験事業について～目的、手法に問題はないか～

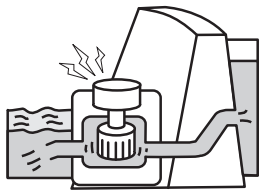
Q．日　色　市長公約にも掲げられた市内下水処理場での小水力発電実証実験事業について、船橋市独自の再生エネルギーを開発するといえば大変聞こえの良い事業に思えるが、その必要性および事業のスキームには問題があると考える。
今回約1300万円の予算を投じるわけだが、この事業で発電できる量はどの程度の規模か。

A．下水道部長　今回実験を行う発電機は5kwのものである。一般家庭で10世帯分、年間約70万円程度である。

Q．日　色　1300万円を投じて、生み出されるエネルギーが年間70万円程度ということでは、この費用を回収するだけで20年かかってしまう。理念は立派だが、市民に負担を強いる発電機と言わざるを得ない。
別の視点から聞くが、下水処理施設を利用した小水力発電はすでに他の自治体でも先行事例がある。このような中であえて当市が改めて実証実験を行う必要はあるか。

A．下水道部長　先進自治体にヒアリングを行ったが、発電効率が芳しくなく、改善の必要があるとの回答であった。導入にあたっては現場に合わせた設計を行うこととなり、実証実験を行う必要がある。

Q．日　色　いまだ確立されていない技術であり、当市が手を出すべきではないのではないか。国策としての再生エネルギーの普及に協力するとして、国の補助金等を活用するのであれば理解できるが、市独自で実施する必要性については疑問がある。
必要性はさておき、事業を実施するにあたり、共同して事業を行う相手が市内企業である必要があるか。他社製品との比較は行われたのか。



A．下水道部長　経済部から市内企業の情報を得て、この企業に内容を聞くこととしたもの。市内企業の育成、産業振興にも寄与するものである。他社製品との比較については資料を取り寄せた。

Q．日　色　参加する市内企業にとって一方的に有利な内容となっている。この実証実験にかかる費用については企業に負担してもらうべきではないか。

A．下水道部長　今回の実証実験の趣旨は、下水道にとって知識の習得といった大きなメリットがあることから、本事業に要する費用については本市が負担することが妥当だと考えている。

Q．日　色　最初から特定の市内企業ありきの事業ではなかったのかとの誤解を招きかねない。他自治体の事例のように、きちんとした募集要項を設けて技術審査を行うべきではなかったか。

A．山口副市長　税金を投入することから、説明責任を果たしていく必要があると考えている。このことを十分念頭に置いて事業を進めさせていただきたい。

●青少年問題協議会条例の一部を改正する条例について～今後の位置づけは～

Q．日　色　法改正により、これまで市長をもって会長に充てる定めのあったところ、その定めを無くす改正案となっている。青少年問題の重要性にかんがみ、法改正に関わらず引き続き市長を会長とする選択肢があったのではないか。

A．生涯学習部長　執行機関である市長の立場と調査審議等を行う協議会の役割を明確に分けるとともに、会の自律性をより重視する観点から会長を委員の互選とした。

Q．日　色　今後の青少年問題協議会の位置づけについてどのように考えているか。

A．生涯学習部長　青少年問題協議会は行政、諸機関や各団体の委員の皆様に青少年の問題を共有していただき、それらの解決に向けてどのような施策が求められているのか総合的に審議いただく重要な付属機関だと考えている。今後当協議会の活性化に努めてまいりたい。

■文教委員長奮闘記
～2学期制 VS 3学期制、特別支援教育の現状を調査～

私が委員長を務める文教委員会では、議会の無い月でも積極的に閉会中所管事務調査を行い、本市の教育行政に関する調査研究を行っています。今年に入ってからも下記の通り委員会を開催し、より良い本市の教育の実現のために様々な議論を行いました。以下、その模様をお知らせします。

●1月10日（金）高崎市視察～学校における学期制のあり方について～

二学期制と三学期制の違い

	4		5	6	7	8	9	10	11	12	1		2	3	
二期制	春休み	始業式				夏休み		終業式	始業式		冬休み			修了式	春休み
	前期								後期						

	4		5	6	7	8	9	10	11	12	1		2	3	
三学期制	春休み	始業式			終業式	夏休み	始業式			終業式	冬休み	始業式		修了式	春休み
	1学期					2学期						3学期			

本年最初の閉会中所管事務調査のテーマは、学期制のあり方についてを取り上げました。

現在、船橋市内の小中学校では1年間を前期と後期に分ける2学期制を採用しています。これは、平成17年度から導入されているもので、従来の3学期制に比べて授業時間数の確保ができること、様々な学校行事の実施が可能となることなどの理由が挙げられています。その反面、通知表の交付が年2回になり、児童や保護者が長期休暇中の過ごし方の目安を得られなくなること、学期の区切りが季節ごとの節目にそぐわないなどの意見があります。千葉県内でも2期制を導入しているのは船橋市のほか千葉市など9市町に留まり、少数となっている現状です。

こうした中、群馬県高崎市ではこれまで2期制を実施してきましたが、平成25年度から3期制に戻したということであり、その経緯と評価を調査するため視察を行いました。

高崎市では教育委員会の担当者からヒアリングを行いました。それによると、高崎市では平成23年度より各界の代表による「学期制検討委員会」を設置し、全保護者及び教職員に意識調査を実施するとともに協議を進めてきたとのことです。その結果、圧倒的多数の保護者が3学期制を望んでいるという結果を踏まえ、平成24年3月末に「高崎市の学期制は3学期制とすることが望ましい」とする答申が提出され、それを受けて教育委員会は平成25年度からの3学期制復帰を決定したとのことでした。

その理由としては保護者の圧倒的な希望のほかにも、①3学期制でも授業時間数の確保が可能であること　②2学期制において期待された事務の軽減（定期試験、通知表作成の回数減少）が実際には小テストの実施やミニ通知表の作成などにより効果が相殺されていることなどが挙げられています。

同時に、3学期制に戻すにあたっては、増加した学校行事について、本当に必要なもののみ残すなど精選する作業を行ったとのことでした。

これらの視察結果を受けて、委員会では当市においても改めて議論の必要性を感じる、保護者意見を聴取すべきではないか等の意見が出され、各会派で持ち帰って今後検討することとなりました。当市の教育委員会では引き続き2期制を採用していきたいとの意向を示していますが、私としても広く保護者の皆さんの意見を伺いながら、今後慎重に議論を続けていきたいと考えています。

視察風景

高崎名物「だるま」がお出迎え

●2月12日（水）特別支援教育の現状について～インクルーシブ教育の理念のもとに～

2月の閉会中所管事務調査は、特別支援教育を取り上げ、総合教育センターにおいて委員会を開催しました。特別支援教育とは、いわゆる障害のあるお子さんを対象とした教育ですが、ここ数年その理念や課程は大きく変化しています。特に、平成19年4月の学校教育法改正施行によってその対象、概念が大きく変わったほか、本年2月からは「障害者の権利に関する条約」が我が国においてもその効力を派生することとなり、その中に定められたインクルーシブ教育（障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み）の構築に向けて様々な施策が推進されていくことになります。

具体的には障害児の就学先決定にあたっての手続きや、適切な施設整備など障害に対する合理的な配慮の必要性などについて改めて今後検討していかなければなりません。

全ての子供たちに十分な教育環境が提供されるよう、今後とも議論を行ってまいりたいと思います。

4月以降も、不登校児に対する支援の状況、教育委員会制度改革の見通し、近隣市における美術館運営などをテーマに積極的な調査研究を行っていく予定となっています。委員の皆さんの協力を得て、円滑な委員会運営を心掛けていきたいと思います。

■委員会のインターネット中継が始まりました

船橋市議会では本年 2 月から、各委員会のインターネット中継・録画配信を開始しました。これまでも本会議の模様は中継・録画配信されていましたが、このたび委員会室にもカメラ等の中継システムが整備されたことから、実施の運びとなったものです。あわせて、サイトも使いやすくリニューアルされ、議員ごとの録画検索も可能になりましたのでぜひ議会の議論の模様をご覧いただければと思います。

発言者をアップに

採決の様子

活動日誌

最近の主な活動の一部をご紹介します。

1 月 1 日　実践倫理宏正会元朝式
　　船橋青年会議所船橋大神宮参拝
1 月 5 日　ボーイスカウト船橋第 3 団新年初集会
1 月 9 日　議会運営委員会
1 月10日　文教委員会　高崎市視察
1 月11日　消防出初式
　　船橋稲門会新年会
1 月13日　船橋市成人式
1 月15日　海神北一百寿会新年会
1 月16日　船橋商工会議所青年部新年会
1 月19日　海神 6 丁目西百寿会新年会
　　本中山地区町会自治会連合会新年会
1 月22日　船橋市私立幼稚園連合会賀春の会
1 月26日　公益社団法人日本青年会議所総会
1 月28日　議会運営委員会
2 月 2 日　千人の音楽祭
2 月 6 日　議会運営委員会
2 月 7 日　北方領土返還要求運動全国大会
2 月10日　千葉県弁護士会京葉支部新年会
2 月12日　文教委員会　総合教育センター視察
2 月13日　船橋市経済ミーティング
2 月14日　船橋市子ども未来会議
2 月15日　ニューフィルハーモニー千葉「春を呼ぶコンサート」
2 月16日　小栗原稲荷神社二の午祭礼
2 月17日　青少年問題協議会
2 月19日　議会運営委員会
2 月24日　議会　開会日
2 月25日　議会　議案等勉強会
　～27日
3 月 2 日　市政報告会
3 月 4 日　議会　議案等質疑
　～10日
3 月11日　議会　文教委員会
3 月13日　海神中学校卒業式
3 月15日　なないろ保育園卒園式
3 月18日　議会　予算特別委員会
　～24日
3 月25日　保護司会西部分会総会
3 月27日　議会　閉会日

■市政報告会を開催しました

去る 3 月 2 日（日）、7 回目となる市政報告会を開催しました。当日は冷たい雨の降る生憎の天候となりましたが、多くの市民の皆様にご来場いただくことができました。私からは市議会の仕組みや平成26年度予算の最新情報などについてご説明したほか、会場の皆様からの活発な質疑応答がありました。

また、ご来賓としてお越しいただいた松戸徹市長、木村哲也県議会議員から力強い激励をいただきました。今後とも定期的な市政報告を続けていきたいと思います。

■ホームページをご覧下さい

日色健人 Official Web Site では、市議会レポートのバックナンバーを掲載しているほか、会議録や質問動画へのリンク、活動ブログを日々（?）更新しています。お時間のあるときにぜひ一度ご覧下さい。

アドレスは
http://www.taketo2784.net/
（タケトフナバシ．ネット）です。
検索サイトで「日色健人」と入力いただいてもたどりつけます。

twitter™「ツイッター」使っています。
アカウントは@ HIIROTAKETO です。ちょっとしたつぶやきをたまにつぶやいています。

■朝の駅頭活動スケジュール

月	火	水	木	金
船橋駅	東船橋駅	海神駅 東海神駅ほか	西船橋駅	津田沼駅

※公務・急用・荒天などにより変更する場合があります。

■日色　健人（ひいろ・たけと）プロフィール

昭和53年船橋市生まれ　35歳　二葉幼稚園、西海神小学校、市川学園中・高を経て早稲田大学法学部卒業。サラリーマン生活を経てアメリカ合衆国西海岸を南北に貫く「パシフィック・クレスト・トレイル」全4200㎞を徒歩で踏破（日本人初）。平成19年4月の船橋市議会議員選挙において3457票を頂き初当選。平成23年4月 5222票を頂き再選。

自由民主党船橋市支部青年部長・文教委員会委員長・議会運営委員会委員・私立幼稚園教育振興議員連盟事務局長・会派「市政会」所属

地域での主な活動:ボーイスカウト船橋第3団副団委員長・船橋稲門会（早大OB会）事務局長、船橋市国際交流協会会員、日本山岳会会員、（公社）船橋青年会議所理事長、保護司、船橋市消防局市民音楽隊隊員　ほか

趣　　味:アウトドアスポーツ（山歩き、キャンプ、カヌー）
愛 読 書:ヘンリー・D・ソロー「森の生活」
座右の銘:Where there is a will, there is a way.
（意志あるところ必ず道あり）

■編集後記

季節もめぐり、暖かく心躍る春となりました。しかし同時に消費増税の春ともなり、政治を担うものの一人として更なるご負担を求めることに心苦しく感じてもいます。お預かりした税金を一円たりとも無駄の無いよう用いるべくこれからも意を尽くして参ります。（健）